

哲學研究

第三十八卷 第三冊

第四百三十七號

昭和三十年十一月二十日發行

聖トマスに於ける esse と

existere について（承前）……………山田

——existere の意味の探究・第二デフェラリ説批判——

晶

ハイデッガーと歴史の問題（承前）……………辻村公一

新着外國雜誌所載論文一覽

京都大學文學部内

京都哲學會

京都哲學會規約

一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする

一、右の目的のために次の事業を行う

(一) 毎月一回研究會を開く

(二) 毎年公開講演會を開く

(三) 毎月一回「哲學研究」を發行する

一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する

一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる

一、會員は會費として年一、〇二〇圓、又は半年五一〇圓を前納する

一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる

一、本會は事務所を京都大學文學部内におく

一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎	池田義祐	石田	井島	上野照夫	臼井二	酒井	重澤俊郎	島芳	園原太一郎	高田三郎	武内義範	田中美太郎	長尾雅人	西谷啓治	野田又夫	松尾義海	三宅剛一	矢田部達郎
-------	------	----	----	------	-----	----	------	----	-------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------

哲學研究定價變更に就いてお願い

今般諸般の事情に依り四百三十七號より定價百二十圓と相成り
従つて一ヶ年一、二二〇圓 半ヶ年六一〇圓と改正させていた
だきましたので今後の御送金の折はおまちがない様お願申
上げます

いられて居るかということを、この語の語原的成立との聯關に於て以下に考察しようと思う。

(未完)

(筆者) 大阪市立大學文學部「哲學」助教授)

「本論文前號所載分の正誤表」

頁	行	誤	正
二三	始より十一行目	(in esse existentes)	(in esse existantes)
二五	始より十一行目	existere	existere
二七	始より 三行目	トチテ福言書	トチテ福言書
〃	始より十一行目	第一意に於て。	第一意に於て。
三一	終より 八行目	praesistent	praesistent
三二	終より 八行目	つじつと existere の意味	 subsistere の意味
三八	終より 四行目	ut multi plicentur	ut multiplicentur
四九	始より 五行目	co existens	co-existens
五五	終行	sub istere	subsistere
五六	終より 七行目	これにつは	これにつは

前 號 目 次

知覚の様式と表現の様式 ヴァーデル・C・
オールドリッチ

増トYESに於ける esse と
existere についで (永前) 山 田 品

彙 報

新著外國雜誌所載論文一覽

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費(年一、〇二〇圓又は半年五一〇圓)をお拂込下さい

「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」

一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、一年分(又は半年分)會費は原則として本誌十二冊(又は六冊)の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年(又は半年)毎に精算します

一、會員の轉居入退會等(納集事務以外は一切)の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい

一、本誌の納集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛に御送り下さい

京都哲學會

京都市左京區音田
京都大學文學部内

昭和三十年十一月十五日印刷
昭和三十年十一月二十日發行

編集人

京都大學文學部内

右代表者

發行人

酒井修

印刷人

伊藤久春

印刷所

弘文堂印刷所
京都市田中西浦町四〇

發行所

株式會社 弘文堂
東京都千代田神田駿河臺四ノ四

註文規定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金郵税共(一部、定價一〇〇圓・郵税八圓)前金にてお送り下さい

一、特に請求書及び領收書を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXVIII

November, 1955

No. 3

On esse and existere in

St. Thomas Aquinas (III).....Akira Yamada

Heidegger und das Problem der

Geschichte (II)Kôichi Tsujimura

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kycto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan